

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |                                  |     |        |     |
|----------------|----------------------------------|-----|--------|-----|
| ○事業所名          | 児童発達支援／放課後等デイサービス ホースプラネット       |     |        |     |
| ○保護者評価実施期間     | 2026 年 3 月 1 日 ～ 2026 年 5 月 27 日 |     |        |     |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)                           | 18名 | (回答者数) | 10名 |
| ○従業者評価実施期間     | 2026 年 3 月 1 日 ～ 2026 年 5 月 27 日 |     |        |     |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)                           | 6名  | (回答者数) | 5名  |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026 年 5 月 28 日                  |     |        |     |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み(※)だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等                  | さらに充実を図るための取組等                                  |
|---|--------------------------------------------|----------------------------------------|-------------------------------------------------|
| 1 | ホースセラピー                                    | 安全を最優先に段階を踏んで馬と接しながら、本人が持つ優しい気持ちを育てていく | 最終目標を乗ることだけにせず 厩舎の清掃など多方向から馬と接することができるように支援していく |
| 2 | 自然を生かした療育                                  | 敷地内の馬場や野原で体を動かしたり、植物や昆虫と接する            | 児童だけでなく、保護者や兄妹も参加して季節の野菜などを育て、最終的に収穫まで行う        |
| 3 | 個別支援（家族参加型）                                | 児童は最大でも2～3名、それぞれの性格に合わせた支援をしていく        | 野菜の収穫やSSTなどは、家族も参加して笑顔の絶えないプログラムを組んでいく          |

|   | 事業所の弱み(※)だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等                                                  | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等                                     |
|---|--------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|
| 1 | 屋内の有効スペースの狭さ                               | 厩舎の一部を改装した屋内のため、走り回るといった運動ができない                                    | 屋内での運動はストレッチなどを中心に行い、風船遊びや玉入れなどを行う                       |
| 2 | 療育時間及び送迎                                   | 療育時間を40分間としているのは、児童が集中してプログラムに参加できる時間と判断しているためだが、中学生だともう少し伸ばせるのが現状 | 立地条件から施設での送迎は行わず、家族にお願いしている。下校時間などから利用が困難との声も出ているので改善が必要 |
| 3 | 小集団での療育                                    | 児童が持つ能力を引き出していけることができる個別支援だが、集団への適応力を身につけるのは困難                     | 定期的に運動を中心にした集団療育の日を設定することも視野に入れている                       |